



情報誌

FAR

55 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鰯屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email: office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

令和の時代を迎えて

副会長 平林久枝



令和の時代が始まりました。激動の昭和から進歩する平成の時代ではありましたが、バブル経済崩壊、度重なる自然災害などで平穏とは言えませんでした。令和は「人々が美しく心寄せ合う中で文化は花開く」という意味がこめられ、出展は万葉集にあり、有識者から意見を聴取して決められたと報じられます。令和は「Beautiful Harmony」と英訳されるそうであり、そんな世界を期待したいものです。しかしながら大国の指導者たちは、自国第一主義、東西の分断、差別を露わにしています。我が国も近隣諸国と揉め事が絶えないこの頃です。少子高齢化と人口の大都市集中、地方の過疎と、財政赤字、経済格差と問題山積です。年金生活者が 95 歳まで生きるには 2000 万円の蓄えが必要と試算されるようであり長生きも目出たいものではありません。日本は平均寿命の世界一であるが、世界一の健康国はシンガポールで日本は 5 位だそうである。我が身を考えても健康でゆとりある長生きは中々難しいようです。“オモテナシ”の東京オリンピックも多くの課題がありそうで、中々おめでたい話だけではありませんが、日本人の責任感と技術力で乗り切れることでしょう。

地球温暖化により世界各地で災害が報じられ、食糧不足も危惧されています。食料を輸入に頼る 我が国ではどうなるでしょうか。日本列島は変化に富んだ気候で四季折々の行事に合わせ、季節ごとに地方色豊かな食材がありました。今や世界中の食材が、何時でも何でも手に入る便利さですが季節感がなくなりました。安全性を重視して賞味期限が近い食材の廃棄が問題となる一方で、食にありつけない子供たちがいるようです。近頃のニュースでは高齢ドライバーの交通事故多発が問題となり、免許証返納者が増えているようですが FAR 会の皆様はいかがでしょうか？人口が大都市集中、過疎化する地方では買い物や医療機関に行くすべもなく高齢者には生きにくい世の中です。一方では技術革新によりドローンは実用化され、車が空中を走る時代も現実的です。宇宙旅行も夢ではなく総旅行時間が 2 時間で 300 万円、宇宙滞在が 14 分で青く輝く地球を見るには高価なものではなくなり、日本の旅行社にも予約者があるようです。旅行者といえ訪日外国人は年間 3500 万人を超え、リピーターが 6 割で気ままな旅を楽しんでいるようです。大きな荷物を持って満員電車に乗ったり、スニーカー、和服姿で名所を闊歩したり、日本人ではまねできないようなタフな旅行ぶりです。生活習慣の違いもあり、観光公害も報じられます。豪華客船で世界各地を旅する日本人も多いようですが、私は秘境の旅か、年相応の温泉旅行かと思うこの頃です。

令和の時代になって初めての大会、第 76 回総会学術大会のテーマは 一寸の光陰 「The Power of Imaging」であり、新しい光が見えることを願っています。JRC の

内 容

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 平林久枝 |
| 2. 秋季大会へのお誘い | 大会長 福西康修 |
| 3. 会員動向 | |
| 4. 新入会員紹介 | |
| 5. 会からのお知らせ | |
| 6. JSRT 情報 | |
| 7. 特集 私のふらり旅「秋」 | 川越市 森 克彦 |
| 8. 寄稿「古墳巡り回想録-その 4-」 | 川越市 森 克彦 |
| 9. 編集の小窓 | |

機器展示も現場で使用する機会が無くなった FAR 会員が大部分ですが、斬新な機器展示を期待しています。横浜の夜の懇親会で FAR 会の今後の活動について語りましょう。

~~~~~

## 《秋季大会へのお誘い》

### 《第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会へのお誘い！》

— 未来へ —

大会長 福西康修



第 47 回秋季学術大会は私の愛する近畿、大阪で開催されます。時は 2019 年 10 月 17・18・19 日、開催会場は大阪のど真ん中、中之島に建つグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）です。この大会が会員の皆様そして参加されたすべての方々にとって記憶に残る大会となるべくプログラムを準備しました。

大会のテーマは“Let’s lead smart medical care through our imagination and creativity” —未来へ— です。急速に広まりつつあるソーシャルメディアや Ai。

日本はこのような世界の潮流ともいえる big wave に飲み込まれることなく、世界の技術と日本固有の技術・考え方を融合させながらより良い医療へと進化することが重要と考えます。昨今、日本放射線技術学会は世界からの波を受け始め、その波に打ち勝つより強い波を発信しようとしています。このような現状において、未来を切り開くのは Ai ではなく、私達の想像力と創造力ではないかと考えこのテーマを選びました。

第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会では未来の扉を開くきっかけとなるような企画を設けています。特別講演 1 は NHK E テレ番組「オイコノミア」にも出演されておられました行動経済学で著名な大阪大学大学院経済学研究科 大竹文雄教授にお願いいたしました。「医療現場の行動経済学」のタイトルにて未来の医療を経済学の面から鋭い分析によって切り込んで頂きます。また特別講演 2 は大阪生まれの日本を代表する建築家 安藤忠雄先生です。「人生 100 年—医学に期待する—」のタイトルにて安藤忠雄先生の貴重な体験と鋭い感性をもとに医学への期待を語って頂きます。また実行委員会企画 2 シンポジウムでは「放射線技術学を科学する —医療の未来を見据えて—」をテーマに教育者・研究者・医療機器メーカー、それぞれの立場を代表する先生方にお集まり頂き放射線技術学の未来を模索して頂きます。また実行委員会企画 3 ではトピックス的な話題として、「5G と医療」について和歌山県立医科大学 上野雅巳先生にご解説いただきます。一般研究発表には約 400 演題の多くの演題申し込みがございました。例年のように、一般研究発表、専門部会企画や教育委員会企画等々、多数のセッション等が行われます。

10 月 18 日（金）は第 4 回国際放射線技術科学会議（The 4<sup>th</sup> International Conference on Radiological Science and Technology）を同会場にて同時開催いたします。午前は CT/被ばく、午後はマンモグラフィ/トモシンセシスをテーマに各国の講師によるシンポジウムを開催致します。

この第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会が医療の未来を考え、切り開くための多少なりともきっか

**JSRT in OSAKA 2019 AUTUMN**  
Let's lead smart medical care through our imagination and creativity

未来へ

**第47回 日本放射線技術学会 秋季学術大会**  
会期：2019年10月17日(金)～19日(日) 会場：グランキューブ大阪  
(大阪府立国際会議場)

大 会 長：福西 康修／京都友誼会病院  
実行委員長：南部 秀和／近畿大学医学部奈良病院  
副実行委員長：中前 光弘／奈良県立医科大学附属病院

主 催：公益社団法人 日本放射線技術学会 (JSRT)  
協 賛：一般社団法人 日本ラジオロジー協会 (JRC)  
大会ホームページ：http://www.jsrt.or.jp/gmmeeting/osa47/

連絡先：〒530-0001 大阪府大阪市北区西田町1丁目11番4号 大阪府立国際会議場412555  
TEL: 06-6133-4252 FAX: 06-6133-4253 E-MAIL: jprts@jrcs.jp

けとなることを望みます。

私達が愛する諸先輩方にも是非、大阪にお越しいただき、私達に安心と勇気を与えて頂ければと思っております。食い倒れの街、お笑いの街、多彩な顔を持つ大阪をバックに南部実行委員長をはじめ実行委員や関係者一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 《会員動向》

(1) 会員情報 (2019年8月8日現在)

会員数：94名 (内、名誉会員：13名)

(2) 新入会者：2名

・森 雅嗣 (神奈川県横浜市) 2019年6月19日付け入会

・船橋正夫 (大阪府大阪市) 2019年8月7日付け入会

(3) 退会者 (2019年5月15日以降)

・死亡退会者：1名 名誉会員 飯塚芳郎 (2019年7月20日逝去)

・自己退会者：1名 喜多村道男 (2019年5月20日付け)

## 《新入会員紹介》

(近況、趣味の記述内容は入会申込書に記載されたものです。)

・<sup>もり まさし</sup>森 雅嗣 氏 (神奈川県横浜市) 2019年6月19日付け入会



【近況】2016年7月より約3年間 JIRA で従事いたしました。その間 JSRT の皆様には温かいご指導と格別なご厚情を賜り誠に有りがとうございました。令和元年5月より医療機器販売事業・遠隔読影支援事業の(株)イーメディカル東京に勤務いたしました。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

【趣味】趣味は読書と旅行です。読書は現代小説、推理小説、歴史・時代小説からエッセイまでジャンルは様々です。その他ジョギング、登山などアウトドアも少し前まで熱中していましたが近年少し遠のいていましたがまた機会があれば復活したいと思っています。

・<sup>ふなはし まさお</sup>船橋正夫 氏 (大阪府大阪市) 2019年8月7日付け入会



【近況】2019年3月に学会の副代表理事を退任し4ヶ月が過ぎようとしています。突然週末に余裕ができましたが、近畿支部の監事と本部表彰委員長を拝命し、学会とは付かず離れずの状態です。貧乏人生は相変わらずで日常はバタバタしながら過ごしています。よろしくご指導のほどお願いいたします。

【趣味】人様の前で偉そうに言えるような趣味はないのですが、若い頃から音楽が好きで、未だにアコースティックの弾き語りやロックバンドの一員として騒音をまき散らして楽しんでおります。

## 《会からのお知らせ》

### 「臨時世話人会議メール会議報告」

1) 開催日時：2019年7月 2) 会議形式：メールによる文章会議 3) メール発信先：全世話人

#### 1. メール会議開催の経緯

情報誌第54号に掲載された「2019年度収支予算書」の一部の数値(前年度繰越)が2018年度決算書と値が異なっているとの指摘が会員(西谷源展氏)より事務局に連絡があった。



この指摘をうけ、正副総務委員長・事務局長で精査した結果、ご指摘された通り、誤った数値であることが判明するとともに、前年度予算額の欄にも数カ所誤った箇所が有る事も判明した。

一度世話人会議議決を行った収支予算書の一部数値を訂正する場合は、直ちに世話人会議を開催し訂正箇所の値を正しい値に訂正を行い、「2019年度収支予算書(訂正版)」として議決しなければならない事は当然でありまた、訂正した「2019年度収支予算(訂正版)」を直ちに最新号情報誌を通して会員各位に周知しなければならない事は自明である。

然るに、最新号の情報誌(第55号)の発行が2019年9月15日でありまた、第2回世話人会議の開催予定が2019年10月19日であり、第2回世話人会議後に発行される情報誌(第56号)の発行予定日は2020年1月15日である事等を考慮し、川上会長と相談の結果、世話人会議の緊急メール会議を行い、「2019年度収支予算書(訂正版)」を審議する事とした。

## 2. 期日までに寄せられた審議結果

期日までに世話人から返答が寄せられた全ての意見は、「2019年度収支予算書(訂正版)」を承認するとの意見であった。

## 3. 結論

メール会議の審議の結果、第1回世話人会議で議決した「FAR会2019年度収支予算書」の一部を訂正する事とし、「2019年度収支予算書(訂正版)」とする。また、会員各位には情報誌第55号(2019年9月15日発行予定)に訂正記事及び「2019年度収支予算書(訂正版)」を掲載するとともに、別刷りとして「2019年度収支予算書(訂正版)」を情報誌第55号に添付する事とする。

## 《訂正記事のお知らせ》

情報誌第54号8頁～9頁に掲載した「FAR会2019年度収支計算書」の一部の数値に誤りがありましたので、情報誌第55号・掲載・別刷(「FAR会2019年度収支予算書(訂正版)」)の通り訂正致します。本会にとって重要な資料である「2019年度収支予算書」に誤りがありました事をお詫びし、今後このような間違いが起こらない様に務めてまいります。

## 2019年度収支予算(訂正版)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

### 収入の部

(単位:円)

| 科 目      | 前年度予算額    | 予 算 額     | 備 考                                                                |
|----------|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| 前年度繰越    | 696,503   | 843,284   |                                                                    |
| 年度会費     | 188,000   | 156,000   | 名誉会員14名を除く78名を見込む                                                  |
| 新入会分     | 10,000    | 10,000    | 5名                                                                 |
| 寄付金      | 50,000    | 30,000    | 前年並を見込む                                                            |
| 広告料      | 0         | 0         |                                                                    |
| 懇親会費     | 890,000   | 1,200,000 | 懇親会の夕べ(30人、@10,000円)<br>「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」(30名、@30,000円) |
| 雑収入(利子等) | 10,000    | 10,000    | 利子等                                                                |
| 合 計      | 1,844,503 | 2,249,284 |                                                                    |

### 支出の部

| 科 目    | 前年度予算額 | 予 算 額  | 備 考                |
|--------|--------|--------|--------------------|
| 情報誌作成費 | 40,000 | 40,000 | 情報誌54, 55, 56号編集諸掛 |

|             |           |           |                                                                          |
|-------------|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 懇親会経費       | 890,000   | 1,200,000 | 懇親会のタベ (30 人、@10,000 円)<br>「2019 世界遺産比叡山延暦寺と石山寺紫式部を訪ねて」 (30 名、@30,000 円) |
| 会議費         | 50,000    | 50,000    | 前年度並み                                                                    |
| 運営旅費        | 100,000   | 100,000   | 運営・総務合同委員会                                                               |
| 通信郵送費       | 70,000    | 70,000    | 情報誌郵送費他                                                                  |
| 事務用品費       | 20,000    | 20,000    | 情報誌等のコピー用紙他                                                              |
| 新規事業費       | 10,000    | 10,000    |                                                                          |
| 雑費 (払込手数料等) | 20,000    | 10,000    | 振込手数料など                                                                  |
| 次年度繰越       | 644,503   | 749,284   |                                                                          |
| 合 計         | 1,844,503 | 2,249,284 |                                                                          |

(訂正箇所の詳細は下記の通り)

- 1) 前年度予算額を情報誌第 54 号 6 頁・7 頁に掲載している「2018 年度収支決算書」の予算の欄に記載されている数値に変更した。(灰色の箇所)
- 2) 前年度繰越額を 644,500 としていたのを、前年度決算書に示した正しい値 843,284 に訂正した。(黄色の箇所)
- 3) 従って、収入の部合計を 2,249,284 と正しい値に訂正する。(空色の箇所)
- 4) 従って、支出の部の次年度繰越額を 749,284 に訂正する。(桃色の箇所)
- 5) 雑費の殆どが払い込み手数料なので 1 行に纏めた。(緑色の箇所)
- 6) 従って、支出の部の合計を 2,249,284 に訂正する。(空色の箇所)

## 《JSRT 情報》

『第 47 回秋季学術大会』大会テーマ: Let's lead smart medical care  
through our imagination and creativity  
— 未来へ —

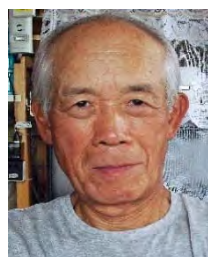
大会長: 福西康修 (彩都友誼会病院)  
会 期: 2019 年 10 月 17 日 (木) ~ 19 日 (土)  
会 場: グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)

『第 76 回総会学術大会』大会テーマ: 一寸の光陰: The power of Imaging  
大会長: 奥田保男 (放射線医学総合研究所)  
会 期: 2020 年 4 月 9 日 (木) ~ 12 日 (日)  
会 場: パシフィコ横浜会議センター他

## 《特 集》

### 私のふらり旅「秋」

川越市 森 克彦



筆者がふらりと散策する場所は、既に春・夏編にて紹介していますが、今回は、自宅から約 1.4Km (17 分程度) に位置する浮島公園内にある「浮島稲荷神社」です。浮島稲荷神社は、観光コースに選定されている 1 か所ですが、多くの観光客は通り過ぎて行くように筆者には感じられます。川越城本丸御殿へ約 500m (7 分程度)、川越大師・喜多院へ約 350m (5 分程度) と小江戸川越巡り観光コースの中間に位置する名刹 (地元及び筆者の思い) であろうかと考えますが、観光客の方々とは思いますが若干違

うと思われます。まずは「浮島稲荷神社」への経路と歴史の概要をご紹介します。

自宅から東に向かって15分程進むと浮島神社への経路板がありますので、これに従って左に10m程先の公園の奥に浮島稲荷神社があります。  
この場所は、5差路となっています。



(矢印：← 地図上)

左は、喜多院へ、公園わきの道路を北に進む



と川越城本丸御殿に向かいますので小・中学校の多くの生徒達は浮島稲荷神社には(時々、本丸御殿の経路を聞かれます)見向きもしないで、富士見櫓跡・本丸御殿へと急ぐ様子を愉しく見守っています。  
神社への正殿(鳥居)の道は、公園の側道ではなく右側(東)5m程先にあります。(写真左下：石鳥居・参道)鳥居を潜ると左奥に「浮島稲荷神社」の概要説明版(写真右下)があります。掲示内容を一読するとこの神社の言い伝え(口伝歴史)を垣間見ることができます。  
鳥居(石華表)には文政九酉戌歳十一月吉祥日と刻まれています。(文政九年は1826年：現在、建立から193年の時を刻んできたことが確認できます)





# 浮島稻荷神社

所在地 川越市久保町

地元の人々から「うきしま様」と呼ばれ、広く親しまれているこの神社が、いつ頃建てられたのかは定かでない。かつては広末稻荷とも呼ばれ、安産の神として麻を奉納する風習が伝えられている。

言い伝えによれば、大昔、星野山（今の喜多院）にあったのを慈覚大師が喜多院を開いたときここに移したとか、また一説には、太田道灌の父太田道真が川越城を築城した際に、城の守護神としてこの地に祀ったものとも伝えられている。現在ある社殿は、大正四年（一九一五）に改築したものである。

今では、この一帯もすっかり様子が変わってしまったが、以前は「七つ釜」といって、清水の湧き出る穴が七つもあり、一面葦の生い茂った沼沢地であった。そのため遠くから神社を眺めると、ちょうど島のように浮かんで見えたところから、浮島神社と呼ばれるようになったという。

また、伊勢物語を初めとして、昔からしばしば和歌に歌われた「三芳野の里」や「たのむの沢」は、このあたりを指すのだともいわれている。

昭和五十七年三月

## 川越市

山号：星野山  
宗派：天台宗  
寺格：別格本山  
本尊：阿弥陀如来  
創建年：伝・830年  
（天長7年）  
開山：伝・円仁  
開基：伝・淳和天皇  
正式名：星野山  
無量寿寺 中院

註：星野山（せいやさん）  
無量寿寺  
（むりょうじゅじ）  
中院（なかいん）  
と読みます。



浮島神社碑（下記に碑文を掲載）



片葉の葦叢生の所：表



片葉の葦叢生の所：裏

此社地一帯を称して昔は多能武澤といひ三芳野里の内にして眺望殊に勝れ古より雁の名所として詩歌により名高く武蔵名所考にも記載あり而して川越史蹟にして附近に夜奈川七ッ釜片葉の葦等の傳記あり境内は所謂浮島にて小丘に稻荷社を祀る傳云太田道真川越城之守護神として祀り崇敬有しと御祭神倉稻魂命にて古来より尊崇篤く安産乃神として靈驗あらたかにして麻を納むるの風習あり社記云元は浮島末広稻荷神社と称し別当福寿坊祭祀を司る文政九年久保町より石華表を奉納し天保十一年社殿の再建有又神泉を清め石橋を設け浄水盤石を寄進せり明治維新之後浮島稻荷神社と改称し大正四年御大典記念に本社拝殿等改築同七年社務所を新築昭和六年社有地と隣地との無償交換成立し以て境内の拡張を計り其神域を清浄に整備し植栽献灯風致を添え崇敬者常に協力一致其神徳をたかめたり今茲に皇紀二千六百年を祝福し社祠之概要を記し以て後世に傳へる乃已

川越市史料囑託 岸 傳平 撰 文書  
題字 西村梧雲 筆

裏面 昭和十六年十月建設 久保町町内会

なお、賢明なる読者の皆様方は、碑文の内容についてはご理解いただけるものとして現代文は掲載しませんでした、ご容赦ください。(註：倉稲魂命「読み：うかのみたまのみこと；記・紀、古事記：宇迦之御魂神「読み：うかのみたまのかみ」)

浮島稲荷神社周辺 片葉の葦叢生の所（碑文を下記に記載）

表面 浮島稲荷神社周辺

片葉の葦叢生の所

裏面

昔、神社の裏側には清水町と呼ばれた湧水の地があり、川越城七不思議に数えられる、「夜奈川」と云う流れや、「七つ釜」といわれる泥深い所もあり、社域は水中に浮ぶ如く、川越きっての景勝の地で、浮島と云う社名もそこから起ったものと思われる。その後、水は枯れ埋立てられて市街地化し、今は以前の面影はないが、古くは「片葉の芦」と称する芦が叢生し、和歌にも詠まれ、いとも風雅であった。もはや、古しえを忍ぶよすがもないが、せめて、碑を建て思い出とし語り草とする。

昭和五十六年 文化の日 建立 勲四等 卒寿 山崎嘉七

碑文にもあるように昭和の初期までは、浮島稲荷神社周辺は、大変風雅な景勝地で有ったことが伺い知れます。



浮島稲荷神社参道（正面：拝殿）



参道中央の石橋



石橋からの池



池から拝殿を望む



拝 殿



本 殿

浮島稲荷神社は、20 本余りの桜の木があり春は桜を楽しむことができますが、筆者が気に入っているのは、秋に咲く曼珠沙華の花です。川越市内では既に多くの曼珠沙華の花が消滅していておりますが、観光 Web で川越・曼珠沙華の 8 風景（仙波氷川神社、中院、妙晶寺、廃線・安比奈線、三変稲荷神社、池辺公園、仙波河岸史跡公園、入間川土手群生地）を観光スポットとしていますが、多くの曼珠沙華が咲いている訳ではないことが記載されています。観光スポットではありませんが、浮島稲荷神社境内にも秋の風物詩、「曼珠沙華」を眺めることができますので、毎年 9 月に訪れております。しかしながら、筆者の思い過ごしか、毎年少しずつ少なくなっているように思えてなりません。以下に 2015 年 9 月 15 日・2018 年 9 月 17 日に撮影した「曼珠沙華」をご覧ください。「彼岸花（曼珠沙華）」について少し解説を加えさせて戴くと、彼岸花とはヒガンバナ科・ヒガンバナ属（リコリス属）に分類される球根植物です。日本や中国に広く自生し、秋の彼岸の期間（秋分の日を入れて 3 日間）に花を咲かせることに由来して名付けられたようです。9 月初



旬から赤・黄・白・ピンクなどの花を咲かせるのが特徴です。また、彼岸花の別名（中国・韓国・英米・学名を含め）は、総数 1000 に上るといわれています。日本各地の方言も多く興味をそそる読者がいましたら、是非、調査してみたいと思います。

因みに、代表的な別名を以下に記載しましたので子供の頃の記憶を辿って見てはいかがでしょうか。

別名：彼岸花（ヒガンバナ）、曼珠沙華（まんじゅしゃげ／かんじゅしゃか）、死人花（しびとばな）、地獄花（じごくばな）、幽霊花（ゆうれいばな）、剃刀花（かみそりばな）、狐花（きつねばな）、捨子花（すてごばな）、毒花（どくばな）、痺れ花（しびればな）、天蓋花（てんがいばな）、狐の松明（きつねのたいまつ）、葉見ず花見ず（はみずはなみず）、雷花（かみなりばな）、レッドスパイダーリリー、ハリケーンリリー、マジックリリーなどです。

学名：Lycoris Radiata、科・属名：ヒガンバナ科・ヒガンバナ属となるようです。



曼珠沙華（彼岸花）：2018 年 9 月 17 日・撮影



2015 年 9 月 15 日・撮影

最後に曼珠沙華（彼岸花）の群生地・日本一として知られておりますのは、「埼玉県・日高市」の巾着田で、その数は 500 万本以上といわれ 9 月の開花時期は、一面に赤い絨毯を敷き詰めたような光景に圧倒されると言われており、一見の価値はあると思います。巾着田の概要、交通のご案内、花情報・花ごよみ等は、下記、ホームページを検索してください。日高市・曼珠沙華の里「巾着田」公式ホームページ  
(<http://www.kinchakuda.com/>)

《寄稿》

「古墳巡り回想録」 —その 4—



前号(54号)速報の川越城跡発掘調査の概要、古墳の発掘場所は、川越城西大手門跡にある市役所から南に約170m、小江戸の象徴「時の鐘」から東に約200mの高齢者施設建設予定地で、川越城の南西の堀跡のすぐ外側に当たります。墳丘は後世に削られており、石室の上部も残っていませんでした。古墳の周囲には上から見て「C」字形の周溝(幅2.3m~2.9m)が掘られていました。石室は全長約5m、最大幅1.7mで、床面だけが残っており、半地下式の横穴式石室と考えられています。床面には厚さ10cmほどの石が敷かれていました。また、今回の発掘調査では、中世の川越城(当時は河越城)の堀跡も見つかりました。

河越城は1457年に太田道真・道灌(どうかん)親子が築城したとされています。江戸時代に5代目川越藩主で「知恵伊豆」と呼ばれた松平信綱が大改修を行った。発掘された堀跡は中世のものだが、元々あった堀をさらに拡張した跡があるという。市教委は6月15日、市立博物館施設にて、発掘調査・遺跡の説明会を開催しました。



発掘場所(左側): 道路中央に時の鐘(赤矢印)



黄色の線で囲んだ場所と推定されます

高齢者施設建設予定地は、初雁公園(川越城・初雁球場等)の散策後の帰路で古墳発掘場所となるとは想像もしていない場所でした。上の2枚の写真は、発掘報道(4月27日)から12日後(5月8日)に撮影したのですが、既に発掘調査が終了し埋め戻しが完了したことが、建設予定地全体に雑草が生い茂っていた場所でしたので土壌がむき出しとなり赤茶けて見えます。

### 「熊野神社古墳」\*桶川市・埼玉県指定遺跡(川田谷古墳群)



熊野神社への石段・大鳥居



熊野神社・拝殿





西側から見上げた神社



北側から見上げた神社

この古墳は、桶川市川田谷古墳群の樋詰支群にあり、出土品から4世紀頃に築造されたと推定されています。1928年に熊野神社の改築のために氏子たちが神社の下を数メートルほど掘ったところ遺物が発見されました。その後、本格的な発掘調査により、直径40メートルほどの円墳で幅13メートルの堀があったことが確認された。

偶然の発見によるので出土当時の状況は不明であるが、出土品は数が多い上に東日本ではきわめて珍しい品が多く、関西で発見されるものと類似点があるなどのことから国の重要文化財に指定されています。また古墳自体は埼玉県指定史跡となっております。

古墳の概要：形状：円墳、規模：直径約40メートル、高さ約6メートル、出土品：勾玉、銅器、刀など（重要文化財）、築造時期：4世紀代、史跡：埼玉県指定史跡



熊野神社古墳出土遺物の説明版



熊野神社御由緒説明版

### 熊野神社御由緒

桶川市川田谷三四八

#### □ 御縁起（歴史）

川田谷は荒川右岸の自然堤防上に位置し、地名は川の端の地であることに由来するという。中世の河田郷に比定される。古くから古墳が多く存在する所として知られ、その内の一つである熊野神社古墳と呼ばれる円墳（最大径三〇メートル・高さ六メートル）の上に当社は鎮座する。

当社は『風土記稿』川田谷村の項に「熊野社 東光寺持」と載り、当時は天台宗東光寺が別当であった。東光寺は村内泉福寺の末寺で、寺伝によれば天長六年（八二九）慈覚大師により開基されたという。また、



かつての氏子区域の小名である「薬師堂」は地内の薬師堂の名にちなむものである。「風土記稿」に「薬師は慈覚大師の作にて座像長一尺余、東光寺の持」と記される。恐らくは、この薬師と共に当社は、東光寺の僧によりこの地に勧請されたのであろう。

『明細帳』に「往古（東光寺持二日枝社、神明社アリシガイツノ頃カ（当社に）合祀シタリト云伝フ」とあり、現在の祭神は伊弉冉命と並び大山咋命（日枝社）と天照大御神（神明社）となっている。

かつての当社は小さな木の祠で、周囲には杉や櫟の大木が多数生え、盛り土の高さも現在の社殿の屋根位まであった。昭和三年にこの祠を改築するに当たり、盛り土を掘削したところ粘土槨が発見され、中から勾玉や紡錘車の遺物が出土した。これらは大変貴重な資料であるため昭和二十三年に国指定重要文化財となっている。

□ 御祭神と御神徳

・伊弉冉命      ・大山咋命      ・天照大御神

□ 御祭日

・元旦祭（一月一日）      ・春祭り（三月十八日）      ・秋祭り（十一月二十三日）

### 「原山古墳群」＊桶川市・市指定文化財史跡（川田谷古墳群）

「川田谷古墳群」は、荒川東部の川沿いに位置する古墳群で、西台支群、原山支群、柏原支群、樋詰支群の4支群に分かれています。開発により破壊され、現存する古墳の数は極めて少ないとされています。

この中の「原山古墳群」は「川田谷古墳群」の「原山支群」にあります。荒川に隣接する台地上にあり、6世紀前半から7世紀後半に築造された現存する9基の円墳からなる古墳群です。古墳は、山林の中にあるが、簡単な散策道が整備されており、解説板も設置されています。林の中へ踏み入ると、標柱が1号墳から9号墳までの存在場所を示しているのが確認できます。現存している古墳の発掘調査はされていませんが、すでに消滅した古墳からは直刀・鉄鏃・耳環・ガラス製小玉・須恵器・埴輪が発見されています。

古墳群の西側（写真：次頁二段目・右側）は、圏央道が整備されたことが伺われますが、少なくとも現状の古墳は保存されているように見受けられます。

#### 【史跡データ】

名称：桶川市指定史跡「原山古墳群」（埼玉県選定重要遺跡）、所在地：埼玉県桶川市川田谷

時代区分：古墳時代後期～終末期（6世紀前半～7世紀後半）、形態：古墳群



原山古墳群の案内板



原山古墳群表示塔







5号墳



7号墳



8号墳



9号墳



東斜面からの古墳全体



古墳の左側は、圏央道

原山古墳群の案内板（記載内容）

原 山 古 墳 群

所在地 桶川市川田谷

桶川市川田谷地区の荒川に面する台地の上には、かつて多くの古墳があったが、その多くは開墾され畑などになり、その姿を消してしまった。しかし、ここの雑木林の中には、現在九基の古墳が残っており、この地名をとって「原山古墳群」と呼んでいる。この古墳群（小さな古墳が集まっているのが特徴）は、古墳時代の後半七世紀に作られたと考えられる。出土品は、ここに残る九基の古墳については、発掘調査が行われていないため不明であるが、すでに消滅した周辺の古墳からは、直刀・鉄鏃（やじり）・耳環（耳かざり）・ガラス製小玉・須恵器（土器の一種）・埴輪などが発見されており、古墳時代後期の社会のあり方を知るには、大切な文化遺産である。

昭和六十一年三月

埼 玉 県 桶 川 市

「広徳寺古墳」＊埼玉県比企郡川島町



古墳墳頂への階段



真ん中の石碑が美尾屋十郎の墓碑





北側から見た墳丘



西側から見た墳丘

広徳寺古墳は、県道 12 号線（川越栗橋線）を桶川市から太郎右衛門橋を渡って川島町に入ってすぐ南の廣徳寺内に残された 8m の円墳。重文の大御堂の裏にある。現在は墓地の一部となっていて、円形というより長円形のように感じられます。

古墳からは、馬鈴出土と伝えられるが、その他詳細は不明のようです。

墳頂には、源頼朝の家臣の美尾屋十郎の墓とも伝えられる石碑があります。この寺は美尾屋氏の館跡とも伝えられています。寺の説明版には、下記の概要が明記されていました。

「平家物語での美尾屋十郎は壇ノ浦の戦いで那須与一の「扇の的」の対応に怒って源氏方を挑発した平景清と取っ組み合って冑の鍔（しころ=両脇に垂れている部分）をひきちぎられてしまったという説があります。

また、隣接する国指定重要文化財廣徳寺大御堂（大御堂とは阿弥陀堂のこと）鎌倉時代初めに北条政子が家臣の美尾屋十郎廣徳の供養のために建てたと伝えられる唐様の仏堂。現存の建物は、室町時代の再建と推定されています。」

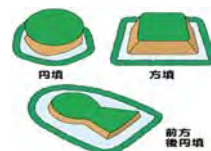
### 「森谷稻荷塚古墳」＊埼玉県比企郡川島町



稲の刈り入れ後 1 カ月程経過



古墳は雑草・雑木等に覆われていた







西側からの古墳



墳丘を間近に覗いてみた

森谷稲荷塚は、田園の中にひっそりと残る古墳です。墳丘は低いので草木が生えてなかったらわからない状況です。場所は、川島町役場の真南 800m ほどの飯島地区にあります。墳丘は低いが良く目立って、典型的な古墳らしさを感じさせます。規模は、15m の円墳ですが、高さが低いのは河川の氾濫による沖積土に埋められているためではないかと考えられます。稲荷ということで墳丘上は祠の残骸らしきものや狐の像などが散乱して荒れた状態でした。一次号へ続くー

ユネスコの世界遺産委員会は 7 月 6 日、アゼルバイジャンの首都バクーで行われている新たな世界遺産を決める会議において日本が推薦する大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産としての登録が正式に決定した。「百舌鳥・古市古墳群」は、大阪府の堺市と羽曳野市・藤井寺市にまたがり、4 世紀後半から 5 世紀後半ごろに造られた 45 件 49 基の古墳から構成されている。墳長 500 メートル近くに達する前方後円墳から 20 メートル台の墳墓まで、大きさと形状はさまざまで、宮内庁が「仁徳天皇陵」として管理し「大山古墳」とも呼ばれる国内最大の前方後円墳も含まれている。とのニュースが流れ一部では号外も出されたことは、会員の皆様もご承知の通りです。



### 《編集の小窓》

FAR 会情報誌 55 号をお届け致します。執筆なされた各位に感謝申し上げます。お月様が綺麗な季節になりました。今年の中秋の名月は 9 月 13 日予定です。残念ながら発行予定日を過ぎていますが。ご覧になりましたか。そして今年の 7 月 20 日は人類が月に降りたってから 50 年になりました。Wikipedia をベースに月探査のことを少し記したいと思います。冷戦の影響下で、有人探査にむけてアメリカ合衆国とソビエト連邦の間で熾烈な競争（宇宙開発競争、スペース・レース）が行われていました。当初宇宙開発競争はソ連が先行しており、人類初の有人宇宙飛行は 1961 年 4 月 12 日、ソ連のボストーク 1 号に乗るユーリ・ガガーリンにより行われ、初めて地球周回軌道に入りました。これに対抗してアメリカも宇宙開発を進めており、有

人宇宙飛行計画としてマーキュリー計画が進められていました。月に接近した最初の人工物体は、ソビエト連邦のルナ計画によって打ち上げられた無人探査機ルナ 1 号で、1959 年 1 月に月近傍 5,995 km を通過しました。ソビエト連邦は引き続き無人探査機ルナ 2 号で月面到達に成功しました。月の裏側を初めて観測したのは 1959 年 10 月 7 日に裏側の写真を撮影したルナ 3 号。初めて軟着陸に成功したのはルナ 9 号で、1966 年 2 月 3 日に着陸し月面からの写真を送信してきました。1966 年 3 月 31 日に打ち上げられたルナ 10 号は初めて月の周回軌道に乗りました。アメリカは 1959 年 3 月 3 日に打ち上げられたパイオニア 4 号で初めて月の無人探査に成功し、1961 年 5 月 25 日に行なわれた「アメリカは 10 年以内にアメリカ人を月に送り、無事地球に帰還させることを約束すべきだと信じます。」というケネディ大統領の声明もあって、ジェミニ計画を経てアポロ計画が行われることとなりました。レインジャー計画（衝突）、サーベイヤー計画（軟着陸）、ルナ・オービター計画（周回）などにより有人機の着陸に適した場所が選ばれ、1969 年 7 月 20 日、アポロ 11 号が静かの海に着陸しニール・アームストロング船長が人類で初めて月面に降り立ちました。このアポロ計画は 1972 年のアポロ 17 号まで続けられました。なお、アポロ 13 号は事故（液化酸素タンクの爆発）により、月面に着陸せずに、月軌道を周回して不要になったロケットパーツを月に落下させて人工地震を起こさせただけで、地球に帰還しました。しかしこのような探査には高度な技術と莫大な費用が必要であり、アメリカではアポロ 20 号まで予定されていたが予算の削減により 17 号で終わりました。ソ連は 1970 年から 1974 年にかけて、ルナ 16 号、20 号、24 号で月の土壌を採取し地球へ持ち帰ることに成功、ルナ 17 号、21 号で無人月面車を送り込みましたが、有人月面探査計画であるソユーズ L3 計画は 1974 年 6 月 23 日、正式に中止が決定しました。俗説として月面着陸は捏造であった、あるいは宇宙飛行士は月面で宇宙人に遭遇していたとする、アポロ計画陰謀論も存在するが、捏造の証拠とされるものはことごとく反証されており、また日本の月探査衛星が月面に残るロケット噴射跡を確認したため、少なくとも月に到着したことは事実と確認されています。アポロ計画終了以後人類は月面を歩いていませんが、各国による無人探査が行われています。その他には、欧州宇宙機関（ESA）、中国国家航天局（CNSA）、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）、インド宇宙研究機関（ISRO）でも月探査計画があります。また、より長期の計画として月面基地建設の構想もあり、NASA は 2006 年 12 月、上記のコンステレーション計画の一つとして 2020 年までに月面基地の建設を開始し、2024 年頃には長期滞在を可能とする計画を発表したが、こちらも中止されています。またロシア連邦宇宙局は 2007 年 8 月、2025 年までの有人月面着陸と、2028 年 - 2032 年の月面基地建設を柱とした長期計画を発表しました。JAXA の長期計画にも有人の月面基地が含まれています。

ここで盗作を一句ご披露します。

「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」では大阪でお目にかかれる事を楽しみにしています。

石井 勉、記



## FAR 情報誌 No.55（非売品）

発行日 2019 年 9 月 15 日

発行者 川上壽昭

編集委員会 森 克彦（委員長）

石井 勉 江島光弘

橋本廣信

山田和美（顧問）

森 連絡先 Tel&Fax : 049-225-2619

Email: far\_editorial\_boards@yahoo.co.jp

mokamokawh@gmail.com